

袋井あやぐも学園

～ 夢を追い続ける子供の育成 ～



西小だより

1人1台タブレットで変わっていく子どもたちの学習

児童1人1人にタブレット端末が整備されて2年目を迎えます。タブレットをはじめとしたICT機器の導入で、授業の進め方や子どもたちの学習スタイルは、保護者の皆さんの小学校時代から大きく変化しています。これまでの学習と比べ、何がどのように変わったのか、昨年度の実践から特に効果が見られた例を紹介します。

以前は・・・

今は・・・

図書室の本や百科事典などを使って調べたことを手書きでワークシートにまとめる



インターネットを使って調べ、タブレット内のシートに必要な情報や写真をコピーしたりしながらまとめる

植物や昆虫をスケッチして、成長の様子や特徴をワークシートにまとめる



植物や昆虫を写真に撮ってタブレットに保存し、写真にそのまま気づいたことなどを書き込む

計算ドリルで計算問題に取り組み子ども自身や担任が丸付けをする



学習支援ソフトで計算問題に取り組み、その場で正誤を判定。間違えた場合は解説を見てやり直すなど、その子に合った支援を受けながら練習する

紙に書いた文章や絵を見せながら調べたことをみんなに発表する



タブレットを使って、文章や写真のスライドを見せながらみんなに発表する

授業で取り組んだワークシートや宿題を担任の先生に直接提出する



ワークシートや宿題をタブレットで行い、タブレット内の指定された所にデータで提出する

自分の意見や考えを紙に書いてペアやグループで紹介し合う。



クラス全員の意見や考えをタブレット上で共有し、紹介し合う

【令和3年度2学期末学校評価 児童のアンケート結果】

○タブレットを使って学習すると、自分の理解に合ったペースで学ぶことができる

〔あてはまる → 59% どちらかと言えばあてはまる → 35%〕

○タブレットを使って学習すると、友達の考えを知って、自分の考えが広がったり深まったりする

〔あてはまる → 55% / どちらかと言えばあてはまる → 34%〕

裏面に続く

たくさんの成果が確認されている一方で、以下のような課題も感じています。

○担任の目の届かないところでいたずらをしたり、目的外の使用をしたりするなどのトラブルも発生しており、使い方のルールやモラルを徹底しなければいけない。

○タブレットのスクリーンを凝視する時間が増え、健康への影響が心配される。

○字を書く機会が減ったり、これまで実際に体験していたことを映像を見て済ませたりするなど、ICT教育によって失われていくものがある。

こうした課題にも目を向けながら、子どもたちのより良い学習ツールとなるよう、引き続き活用方法を模索していきたいと考えています。

学校ウオッチング



1年生

「グリーンピースの皮むきをしたよ」



2年生

「夏野菜を植えたよ。夏野菜大きくなあれ！」



3年生

「わり算の学習をがんばっています」



4年生

「理科で春の動植物の様子を
見つけに行きました」



5年生

「アースキッズの学習が始まりました」



6年生

「ようこそ1年生の会の
司会進行をがんばりました」

PTA親子奉仕作業(6年生親子)
ありがとうございました
学校中がぴかぴかになりました。



PTA総会の紙面議決について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度のPTA総会は紙上開催としました。議案である令和3年度の活動報告、決算報告、令和4年度の役員組織、活動計画、会計予算等について、会員数372人中、304人の会員から承認の回答をいただき、承認が過半数に達しました。これにより本議案は承認されましたので御報告いたします。